

一月二十四日（木）

「全国学校給食週間」

1月24日～30日は、全国学校給食週間です。明治22年、山形県で学校給食が始まりました。その時の給食は、おにぎり、さけの塩焼き、青菜。昭和51年に米飯給食が開始され、ごはん、牛乳、さばの香りあげ、筑前煮、味噌汁。現在は、地元で収穫された食材を数多く使った給食メニューです。今、問題となっていることは、「食品ロス」です。まだ、食べられるのに捨てられてしまう食品をどうすれば減らしていくことができるのか。一人一人が「食品ロス」について、真剣に考えてみましょう。家庭からのごみには、食べ残しや買いすぎ、調理等で出るごみなどがあります。学校給食は、全部食べて必要な栄養がとれるようにできています。給食の食べ残しを減らせば体に役立つし、ごみの減量にもつながります。今、自分たちに、何ができるのかを考えたいですね。